

苫小牧市立勇払小学校

勇払小だより

令和7年8月29日発行 NO.6

勇払小学校学校教育目標

- 自ら考え、進んで学習する子（知）
- 明るく、豊かな心の子（徳）
- 健康で、ねばり強い子（体）

充実した2学期に向けて

苫小牧市立勇払小学校長

池田 利夫

たくさんの体験や思い出を抱えた子どもたちが、勇払小学校に戻ってきました。校舎内は、元気な声と溢れる笑顔でいっぱいになりました。夏期休業中には保護者・地域の皆様など多くの方々が子どもたちの生活を見守ってくださったことと想われます。おかげさまで、子どもたちに大きな事故やけがもなく、2学期を迎えられたことに感謝いたします。

さて、始業式の校長挨拶は、次のような話をしました。

「この2学期は、学期の中では一番長く、勉強や行事などにじっくりと取り組める学期です。何もしないでだらだら過ごすのではなく、できそうな具体的な目標を決め、少しでもその目標に向かって努力を続けていくこと、できれば丁寧に行うことで2学期の終わりに自分で自分の成長に気付くことができます。」

また、最上級生の6年生には、「これからの一つ一つの取組が小学校生活の『最後』というものとなっていくことから、6年間の小学校生活の総まとめとして、自分自身に納得のできる取組をしましょう。そして、日々の学校生活で様々なことに取り組んでいる姿を下級生に示し、その姿をとおして下級生たちに『先輩たちから受け継いできた勇払小のバトン』をつないでください。」と伝えました。

そして、7月30日（水）に起きた、カムチャツカ半島付近での地震による津波警報がでたことについて次のような話をしました。

「自分の命は自分で守る」…先生や家族がいないときはどうしたらよいのか？

「避難所先での過ごし方」…ルールを守ることの意味、不安をどう乗り切る？

「周囲との協力や助け合い」…小さい子やお年寄りが困っていたらどうする？

「日頃の備えと心構え」…1人のときに津波警報が出たらどうする？

避難行動を「自分ごと」として考える力を身に付けてほしいと思い、上記のようなことを投げかけました。防災教育は、ただの知識ではなく、命を守る知恵と行動力を育てるもの。

我々も、「もしも」の時に備えた心構えや準備を心がけていきたいものです。

改めまして、子どもたちにとって充実する2学期となるように、教職員一体となって教育活動を進めてまいります。

保護者の皆様には、2学期も引き続き、本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



2 学期始業式



子供たちから、夏休み中にあった楽しい出来事についてのお話がたくさん聞かれました。

校長からは、2学期について「毎日の小さな積み重ねを継続して力をつけていきましょう。」「災害の時どうするか考えていきましょう。」というお話しをしました。

児童会から、「あいさつ運動」と友達のいいところを見つける「ハートの木」の取り組みについて発表がありました。



9月



- 1 日(月) 委員会 避難訓練・シェイクアウト
- 3 日(水) フツ化洗口
草の根教育実習(～5日まで)
- 4 日(木) 学校運営協議会 18:30～
- 5 日(金) **5 時間授業**
長生大学との世代間交流(1・2年生)
- 8 日(月) クラブ スマホ安全教室(3～6年)
- 9 日(火) 4年生福祉授業(車椅子体験)
- 10 日(水) フツ化洗口
- 11 日(木) **5 時間授業**
- 15 日(月) **敬老の日**
- 16 日(火) マラソン記録日
4年生福祉授業(点字体験)
- 17 日(水) フツ化洗口
- 18 日(木) 認知症キッズサポーター養成講座(5年)
- 19 日(金) マラソン記録会(予備日)
- 23 日(火) **秋分の日**
- 24 日(水) フツ化洗口 4年生福祉授業(手話体験)
- 25 日(木) 心の授業(2年)11 日(水)
- 29 日(月) **5 時間授業**
- 30 日(火) 2 計測・視力



生活のリズムを整えましょう

これから体を作っていく成長過程の子供にとって、睡眠はとても大切です。十分な睡眠時間をとることによって、記憶の定着や免疫機能の向上等、体の様々な機能が発達していきます。就寝や起床の時刻がバラバラだと授業を受けても集中できなかったり、思うように力を発揮できなかったりします。

大人と子供は一緒ではありません

大人が調整してあげないと、経験のない子どもは目先の楽しいことだけを判断の基準としがちです。

“子供”の期間は思っているよりも短く、あっという間です。「何でも大人と一緒に」「楽しいから」ではなく、今後の長い人生にとってよい選択をできるようにお話しください。

- ・就寝時刻
- ・動画視聴やSNS利用の時間
- ・家庭学習の時間 など

草の根教育実習

教員免許取得の要件となる本来の教育実習とは異なる職業体験です。今回勇払小学校で2名の大学生が3日間の教育実習体験を行ないます。

教員の仕事は、未来を担う子ども達に授業を通して、自分で考える力を育む重要な役割です。実習生の二人には、今回の取り組みを通して教職について考える機会となればと思います。

子どもたちにとっても、良い刺激を与えてもらえる機会になればと思います。

津波避難所の対応 ご協力をお願いします

夏休み中、カムチャツカ半島沖地震による津波への対応として、勇払小学校も避難所となりました。今後に備えご理解とご協力をお願いします。

【避難者の協力が大事】

- ・避難してきた方から率先して「やれることはありませんか」と声をあげていただくことで、避難所運営が進められ大変助かりました。
- ・災害時は、その場にいる全員が被害の当事者となります。お客さんのように全てを運営者に任せるのではなく、避難してきた人も一緒に協力することが安心して過ごせる避難所の成立に大切であると改めて感じました。

【避難のルールについて確認を】

- ・今回夏休み中ということで、ご家庭に児童がいる状況でした。いつ起きるかわからない災害時にどのような対応をするか、お子さんとも話し合いを持てはいかがでしょうか。

※避難者の皆さんにホーユーとセイコーマートから食事の差し入れがありました。